

発行日 2024年7月15日
発行人 田辺 証夫
編集人 小堀 日出春

VOICE

NO. 135

LMI世界宣教会
LMJapan
振替 00110-1-91993

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

バングラデシュ医療宣教師
近藤 恵

荒野の38年

とても暑くなってきましたが、みなさまお元気でお過ごしでしょうか？私は、バングラデシュから2021年の11月に帰国して以来、2年7か月の月日がたってしまいました。バングラデシュに戻るのがみこころならば、きっとビザは与えられると未だ信じています。手続きはゆっくりとではあるのですが、進んではいます。

時々、茨城県の桜川キリスト教会の再開拓のために立ち上げられた桜川宣教ネットワークの祈禱会に参加しています。祈禱会では、近隣の教会が集まって、互いに祈り合います。先日のこの祈禱会でのメッセージは、申命記2章7節からでした。イスラエルの民は、カデシュ・バルネアでカナンの地に入れと言われた主の命令に従わず、罪を犯します。その後、38年間荒野をさまようことになるのです。でもこの一見無駄であったような時にも、主は見守っておられたということ、苦難の時ではあったけれど、祝福の時でもあったのだということでした。

振り返ってみて、私のこの一見無駄であったような2年7か月はどうであったのだろうかと思いました。時間が十分与えられ、ゆっくり聖書を読むことや、様々な本を読むことができました。また、専門ではない内科の学びを中心に医学の学びもすることができました。また週



ジョイランクーラの病室の様子（昨年6月）

1回、日光の病院で外来や手術の手伝いをする事ができました。この外来は、あまり忙しくないで、日本の医療から長い間離れていて、薬の名前も知らないものが多くなっている私にとっては、ちょうどよい学びの時でした。さらに、外科の患者さんだけではなく、内科が忙しい時には、あまり難しくない初診の患者さんが回されてくることもあって、良い経験ができました。

さらに教会の姉妹方、特に教会に行けなくなっていた方々との交わりが与えられていました。そのうちの一人は、イースターの日、「このままではだめになる」と一大決心をして、行くのに決して便利ではない教会にがんばって行き、その後ずっと続けて行くことができています。たくさんさんの愛につつまれて、不思議に交通の手段も整えられ、どんどん成長していくさまを見せていただいています。もう一人は様々な辛い思いをし、何日も眠れない夜を過ごした後、別の教会に集うようになっていました。何年ぶりかの礼拝に感激したということで、この方もみ言葉にしっかりと養われている様子がわかります。本当に神さまのなさることは、すごいなあと思います。

また、ここ1年半くらいは、1か月に1回は96歳の母が一人で住んでいる実家に帰って、たまった洗濯をし、掃除をするということをしてきました。小さい頃は、母は忙しく夜まで戻ってきませんでしたし、私は高校から実家を出たので、今、母と一緒にいる時間が持てているということも感謝なことです。

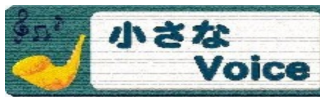
私のこの2年7か月も決して無駄な時ではなく、主がしっかりと見守り、導いてくださったのだと思います。お祈りを感謝します。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1
☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付
E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp
【現地】 Garo Baptist Convention
Christian Health Project
Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
Mymensingh, BANGLADESH

【祈りの課題】

- ビザのために働いているLuchonさんに力が与えられるように。
- 日本にいる間になすべきことができるように。
- ジョイランクーラのドクター・ルーシーとドクター・タポシュのために。
- 母と姉の救いのために。



安藤眞里
LMI世界宣教会会計事務

「隣人と共に」



現在、LMJの事務所が置かれているかもい聖書教会は、戦後アメリカから来日されたフランク・コール宣教師の開拓により50年前に生れ、この小さな者はコール先生から洗礼を受けました。先生方を日本に導いて尊いお働きを支えてくださった神さまに感謝致し、御名をほめたたえます。

かもい教会は23年前、立石宣教師夫妻をNY邦人宣教師として送り出した時、当時のちいさな教会は未踏の世界宣教への第一歩を踏み出し、海外への窓が開かれたことに励ましを受けたのでした。この者も支える会の会計奉仕を18年間続けることとなり、そのままLMJの会計事務担当となってもう5年目となりました。

主の愛と福音が現地の人たちや邦人駐在の方々へと伝えられる御業を見せていただきました。神さまのご計画と導きを祈り求めながら宣教師方の忍耐深いお働きと、その実の報告を聞かされた時に、支える会や理事会・祈禱会の皆さまと共に、どれほどの祈りと感謝があったことでしょうか。また忠実にささげてくださいる全国の支援教会、兄弟方により生活費等送金が備えられましたことにも、主のご真実なお支えを感じてまいりました。

そして同時に私たちは、今置かれている所における地域での宣教のことも、世界宣教の一環であることを教えられています。教会や地域の高齢化、家族の高齢化、小さな者自身、後期高齢者と言われるようになった今、身近な隣人の側で共に歩むことが求められていることを痛感させられています。長く携わることを許された海外宣教サポートを通して受けた言い尽くせない多くの恵みを糧とし感謝をしつつ、次のステージで神さまと人にお仕えできればと、願わされます。

(かもい聖書教会員)



Burundi (ブルンジ)

最初から 愛されていた

東アフリカ内陸部にある、世界でも最貧国の一つ、ブルンジ共和国の女性の証しを紹介します。

もし私たちがイエスを受け入れるなら、イエスは私たちと私たちの環境をそのままにしておかない。このことはクリステラ=写真=を見ればわかります。

「私の両親には、私が生まれる前にすでに6人の娘がいた。アルコール依存症の父は息子が欲しくてたまらず、次の子がまた娘だったら母を追い出すと脅した。私の母が私を妊



娠し、私が女の子だとわかったとき、母は中絶を決意した。でも医者はそれを拒否し、イエス・キリストに助けを求めるように言った。それでママは私を産んだんだ。」

「私が家族から必要とされなかったことは、私の子供時代に大きな影響を与えた。私は孤独で、こう思った。『もし本当に力強い神様がいらっしゃるのなら、私を産むことを許さなかつたらうし、こんな苦しみを味わうこともなかつたらう』」

「ある日、教会で牧師がイエス・

キリストの力について語るのを聞いた。説教の最中、私が生まれる前からイエスは私を愛し、私の人生を守ってくださっていたことに気づいた。その日、私は誰かに祈ってもらい、重荷が下りたのを感じた。私の孤独と恐れは消え去った。今、私はイエスが私の側にいてくださることを知っている。今日、私は神が私の家族と私のためにしてくださったことを感謝している。私の父もイエスを受け入れ、家族と教会に公に罪を告白し、さらに自ら牧師になった。」

(トーマス・ベック：LMI-Jチームリーダー)

New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
 笹川雅弘・由利子

聖書的子育ての 学び第一期終了

「見つけた子育ての喜び」をテキストに用いた聖書的子育ての学びは今年3月14日に開始し、6月13日で第一期を終了いたしました。レギュラーメンバーの求道者3名が最後まで熱心に学んでくれました。

ブルックリンの黒人教会でゴスペル音楽イベントに参加

NY州内の著名なゴスペルクワイアが招待される年に一度の音楽イベント（5月31日、ブルックリン）に私たちのクワイアが招待され、5月18日の春のゴスペルコンサートに出演したメンバーの内、大人20名、子ども15名が出演いたしました。当日の様子は「週刊NY生活」という邦人向けフリーペーパーにも記事として掲載されました。



春のゴスペルコンサート

3月14日（木）から始まったGreg KellyとTim Rileyの二人の指導による春のゴスペルワークショップを締めくくるコンサートは、5月18日（土）リッジウェイ教会にて、大人27名、子ども27名の出演者で行われました。約150名の来場者ととともに会場は大いに盛り上がりました。



盛り上がったゴスペルコンサートが終了し、指導してくれたケリーさんに花束が贈られた

ウェルカム礼拝後に 教会でBBQの交流会

6月30日（日）に行われたウェルカム礼拝の後、教会の裏庭にあるBBQ交流スペースにてBBQ食事をしました。天候が不順な中でしたが、なんとかグリルを使用することができ、久しぶりの方も参加し楽しいときが持たれました。

【祈りの課題】

- 求道者向けバイブルスタディに参加された方の今後の導きのために
- 春のゴスペルワークショップ・コンサートに参加したメンバーたちが教会との関わりが深められ、信仰が与えられるように。
- 日本で療養中の笹川由利子師の守りといやしのために。
- 宣教活動継続のため経済的が必要が満たされるように。

笹川雅弘宣教師を支える会（かもい聖書教会）

電話：045-931-3312

Mail: kimikuma1126@gmail.com

HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

Council of LMIに参加して

年に一度6月にドイツのリーベンゼラ本部に各国の代表者が集まり、会議（C-LMI）が開かれます。今年は、4日から9日まで行われ、宣教についてのバイブルスタディーや組織についての話し合い、そして総会では投票により新しい委員も選出されました。

特に、今年の新しい取り組みとして9日の日曜日にインターナショナル礼拝＝写真右＝が行われました。世界各国から来たクリスチャンたちとドイツ人クリスチャンが一堂に会して、ともに主をたたえる様子は、まさに御国での主への賛美を思わせるものでした。その礼拝の中で、一人のアフリカ人の牧師が涙ながらに、ウクライナやガザの戦闘の早期終息を祈っておられました。自らも内戦によって国を追われたがゆえに、その人たちの苦しみや痛みを身をもって知っておられるのでしょうか。私も、世界各国の飢餓や戦争、迫害のために苦しんでいる人たちのために、祈りの手をあげ続けてまいりたいと思われました。

（村上正道・LMI世界宣教会理事＝湘南のぞみキリスト教会牧師）



記録的円安の中にあっても

多くの方々がニュース等でご存じのことかとは存じますが、昨今は円安が止らず、円が下がり続けています。日本から送り出されている宣教師たちは、この円安の影響を受け続けていて、ニューヨークで邦人宣教を行っておられる笹川宣教師も例外ではありません。ぜひ、円安の中にあっても宣教師たちの必要を主が満たしてくださるように、さらにお祈りくださるとともに、ささげ物に加わってくだされば幸いです。皆様方の上に主の豊かな祝福をお祈りしています。

（会計担当）

理事会便り

★毎月第一金曜日行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。

★近藤恵医療宣教師のビザ取得のために。無事にビザが与えられ、万事状況も整えられてバングラデシュに向かうことができますように。またジョイランクーラ・クリスチャン・ホスピタルの必要のためにお祈りください。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の働きのために。由利子宣教師の療

養と癒やしのため。単身赴任中の雅弘宣教師の働きのため。グリーンカード取得を願っています。たんぼぼミニストリーの祝福のため、人的・経済的な必要が、記録的な円安が続く中でも満たされるように続けてお祈り、お支えください。

★各宣教師を送り出すそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起こされた時の十分な備え。

★村上理事が、ドイツで行われたLMIの会議に参加されました。

★ホームページの作成が始まっています。働きが周知され、祈りと

支援の輪が広げられるために用いられますように。

★JOMA、メンバーケアミーティングなどの他団体との働きが祝福されますように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「わたしはあなたの神、主である。わたしがあなたをエジプトの地から連れ上った。あなたの口を大きく開けよ。わたしがそれを満たそう。」

主に心から期待して、なすべきわざに励みます。

（田辺証夫・LMI世界宣教会理事長）

LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部 & ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会会気付 ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局) E-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/>(ドイツ語), www.liebenzell.ca/(英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計)

トーマス・ベック(LMI担当) 小倉 泉(Bg) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志 小堀日出春(Voice編集)

【監事】野村卓一、佐藤陽一 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり